

施策マネジメントシート(2023年度の振り返り、総括)

作成日 2024 年 6 月 6 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち						
施策	9	公共交通の維持・確保	主管課	名称	企画課		関係課	総務課 危機管理室／総務課 新治支所 住民係
				課長	小池 俊弘			
				担当係	企画調整係			
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 								

目的と基本方針	公共交通の利用促進と移動手段の確保
	- 公共交通の利用を促進し、現行路線の維持確保に努めます。 - 公共交通空白地域での移動手段の導入を検討します。

考え基本事業の	- バスカード廃止に伴う、代替支援の検討、導入、普及。 - 現状の公共交通が存続できるよう努める。 - 公共交通空白地域及び、公共交通運行時間外での移動手段の導入を検討し、施策展開する。
---------	---

基本事業	基本事業名	対象	意図	取り組み方針
	1 公共交通の利用促進	町民	公共交通を利用する。	登録証を発行し利用者の負担軽減を図ります。
	2 移動手段の維持・確保	町民・来訪者	既存の移動手段を維持する。	自主運行路線の継続運行を支援し、町運行路線を継続し移動手段を確保します。
	3			
	4			

施策を取り巻く状況	1. 施策の現状 - 高齢化社会を迎える中、コロナ禍の影響を除外しても、公共交通を利用している人の割合(町民アンケートより)、路線バス利用者数、鉄道利用者数ともに、現状維持を目指す目標設定に対し、実績は右肩下がりとなっています。 - 路線バスの利用促進を図るバスカードが、令和5年3月31日で販売を終了し、令和6年1月31日をもって利用を終了します。 - 公共交通を利用する若年層は、年々減少傾向となっています。	2. 施策の課題 - 公共交通の利用者数の減少が運行本数の減少を招き、路線の減少につながっているため、運行本数と路線の維持が課題です。 - 住民の高齢化が進み、移動手段(利便性)の確保が難しくなります。 - 買い物や通院手段の確保、観光客の移動手段などの課題があります。 - 路線バスの利用を促す制度を再構築し、利用者へ浸透させることが必要です。 - タクシーの営業時間が短く、営業時間外での移動手段の確保が難しくなっています。
	3. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化する？ - 群馬県が地域交通計画を策定している。(令和5年度～令和9年度) - 路線バスは、バスカードが廃止(R6年1月末)になり、交通系ICカードに代わる。 - 公共交通機関におけるインバウンド対応の促進。(多言語表記等)	4. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ - 免許返納後の移動手段を確保してもらいたい。(将来的に不安である。) - バス同士や、電車とバスの乗り継ぎが悪い。 - タクシー終了時間が早く終わってしまい不便である。

施策のための目的・役割分担達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 - 公共交通の重要性を認識し、通勤・通学・通院・買い物等で積極的に利用する。 - 事業者は、利用者数が増加するよう、公共交通の利便性とサービスの向上に努める。	2. 行政(町、県、国)の役割 - 現行路線維持のため、利用促進と生活交通の確保に努める。 - 関係機関と連携協力し、移動手段の確保に努める。 - 来訪者へ情報発信を行い、公共交通利用の促進に努める。 - 上毛高原駅の利用促進のため、駅の周辺整備を促進する。

施策	9	公共交通の維持・確保	主管課	名称	企画課
				課長	小池 俊弘

施策の成果指標	成果指標名		単位	区分	2021年度(R3)	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	2026年度(R8)	2027年度(R9)
	A	日常的な公共交通を利用している市民の割合	%	実績値	7.7	9.0	11.0				
				目標値		9.2	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	B	路線バスの運行路線数	本	実績値	5	5	5				
				目標値		—	5	5	5	5	5
	C			実績値							
				目標値		—					
	D			実績値							
				目標値							

成果指標の達成状況	A	達成	成果指標の増減の要因	A	コロナ禍の影響を受けて減少傾向が続いたが、2023年度はコロナ前の水準にまで回復した。運賃割引制度スタートに伴い、広報活動の増加が好影響につながった。
	B	達成		B	路線バスの運行路線数は5本を維持している。全国的にも運転手不足等の問題を抱えているが、運行路線数を維持している。
	C			C	
	D			D	

基本事業の成果指標	基本事業名		指標名	単位	区分	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	1	公共交通の利用促進	A 登録証の発行累積数	枚	実績値	—	—	348				
					目標値		—	10	50	70	90	100
			B		実績値							
					目標値							
	2	移動手段の維持・確保	A 路線バス利用者数	千人	実績値	145	164	164				
					目標値		268	200	200	200	200	200
			B		実績値							
					目標値							
	3		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							
	4		A		実績値							
					目標値							
			B		実績値							
					目標値							

基本事業 取り組み状況・増減の分析・課題・取り組み	取り組み状況		目標に対する増減の要因分析	現状の課題	具体的な取り組み
	1	市民へ、運賃助成制度の優位性を周知し、登録証の申請を促した。	バスカードを買い置きしている人が、想定以上に少なく、登録証への移行が想定より早く進んでいる。お試しで発行している人も一定数ある。	運賃助成(割引)制度の認知度アップを図り、利用者数の増加につなげることが必要。	定期的に運賃助成や定期券購入補助制度の紹介を図るとともに、対象者(例、中学生3年生の卒業時)や時期を限定しターゲットを明確にして周知を図ってきたい。
	2	運賃助成制度や通勤通学定期券購入補助制度を周知し、利用者の拡大を図った。また、シェアカー等、新たな移動手段を構築し多様な移動手段の確保。	コロナ禍を乗り越え、回復傾向であるが、利用者数はコロナ禍前まで回復されていない。	バス運転手の労働時間の改善に伴い、労働力不足が発生し、今後減便や運行路線数の確保が危うくなっていくことが想定される。	住民や観光客等の人流データを分析し、自治体・交通事業者に加え異種業者等の多様な人材とワークショップ等を実施し、地域交通の再構築に向けた新たな施策の立案とロードマップの策定を目指す。
	3				
	4				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		自家用有償バス(猿ヶ京法師線)運行事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,351,847 円	
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						・自家用有償バス運行に関する事業 自家用有償バス(自家用有償旅客運送)とは、町が交通空白地域に対応するため、国土交通大臣が行う登録を受け、町内猿ヶ京温泉～法師間において住民の運送、その他の国土交通省令で定める旅客の運送を行うバス。				特になし						
	基本事業		02		移動手段の維持・確保																
	組織名		総務 課		新治支所住民 係						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				乗車人数		
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	16	課題なし				地域住民の交通の利便性を図り、生活福祉の向上と交通の安全を期すために運行する。					
																	令和 4年度	令和 5年度	単位		
																	5885	7095	人		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000002		後閑駅前月極町営駐車場管理運営事業							① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	4,416 円							
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保							後閑駅前町営月極駐車場(普通財産)の貸出及び維持管理を行う。駐車場使用料は、1台あたり3,000円/月である。				利用者の入れ替わりが少なく、空き待ち状態が続いている。令和5年度よりオンラインによる申込手続きを開始した。				事業実績							
	基本事業		01		公共交通の利用促進															契約(利用)台数							
	組織名		財政		課		行財政改革推進係							②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度				令和 5年度	
事業期間		継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	5	砂利敷のため除草、除雪、区画の整備等の維持管理作業が発生するが、財産の位置づけや料金設定から多額の設備投資は見合わない状況である。							利用者の車種、属性等の把握を行い運営に活かす。				47		47		台

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		鹿野沢町営駐輪場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	246,950 円			
施策体系	施策		09	公共交通の維持・確保						水上駅前自転車駐輪場の貸し出しに係る、申請受付、許可証・シールの交付、使用料の徴収、駐輪場の清掃等。				土地賃貸借契約の更新時の際、地権者に今後の利用方針に触れたうえで更新を行った。				事業実績				
	基本事業		01	公共交通の利用促進						②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				利用者数				
	組織名		財政 課		行財政改革推進 係				年間の借地料が割高である。 また、年々、利用者が減少しているため、施設のあり方について検討が必要。				利用者数、コストパフォーマンスを考慮し別の方法で駐輪場を確保、運営するよう調整する。				令和 4年度	令和 5年度	単位			
事業期間	継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	5					5	5	人				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		路線バス利用促進事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		3,090,045 円							
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						路線バスの利用促進を図るため、路線バスの利用者に対して補助金等を交付する。 みなかみバスカードに代わる新しい制度として、路線バス利用者の維持・増加につなげる。 ＜路線バス運賃助成事業＞ 路線バス運賃の2分の1の額を助成 ＜路線バス通勤通学定期券購入補助金＞ 路線バス定期券購入費用の3分の2の額を補助				広報への掲載や回覧による周知を行った。				事業実績								
	基本事業		01		公共交通の利用促進														制度利用者数								
	組織名				企画 課		企画調整 係				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
事業期間		継続事業		会計		1 款		2 項		1 目		10		みなかみバスカードと比べ割引率が低下することから、町民への利用促進が課題である。				引き続き周知を行い、路線バスの利用促進を図る。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
																		-				351		名			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000001		路線バス運行支援事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		5,806,000 円			
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						水上地区内で運行する路線バス、宝川入口～水上駅線の朝一便の補助。 新治地区内で運行する路線バス、猿ヶ京線の運行を維持するための補助。				バスカードに代わる新たな制度の検討を行い、①路線バス運賃助成事業、②路線バス通勤通学定期券購入補助金を導入				事業実績				
	基本事業		02		移動手段の維持・確保														利用者数(宝川入口～水上駅線)				
組織名			企画			課			企画調整			係			②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				
事業期間		継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	10	町内バス路線の利用者の維持確保 バス事業者の収益悪化や営業所の統廃合による運行本数の削減				自主運行継続のため、公共交通の利用促進や県が実施するバスや鉄道などの乗り換え案内などの情報を詳しく紹介することにより利用しやすい環境づくりに努める。				令和 4年度	令和 5年度	単位
																	57				65	人	

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		地域公共交通会議等事業						① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費	0 円					
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						町営バスの登録更新などの際に行われる会議					—					事業実績					
	基本事業		02		移動手段の維持・確保																会議開催回数					
	②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策																				
組織名			企画 課			企画調整 係						課題なし					—					令和 4年度		令和 5年度		単位
事業期間	継続事業			会計	1 款	2 項	1 目	10	0		1											回				

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000005		上毛高原駅前駐車場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,483,038 円									
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						上毛高原駅前に整備された駐車場(コインパーキング)の維持管理と北側、西側2カ所の町民駐車場の維持管理を行う。				新たなキャッシュレス決済の仕様について、機器設置業者等から情報収集した。				事業実績										
	基本事業		01		公共交通の利用促進														コインパーキング利用台数										
組織名				企画			課			企画調整			係			②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業			会計		1	款		2	項	1	目	10	機器の交換時期が近づいている。キャッシュレス決済対応機器の導入を検討する。駐車場敷地内の植栽等の管理方法を検討する。				キャッシュレス決済の導入、新紙幣、新貨幣に対応した機器の更新等を検討する。				61,915		62,815		台		

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000003		後閑駅前駐車場管理運営事業						① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,950,256 円													
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						後閑駅前に整備された駐車場(コインパーキング)の維持管理を行う。 維持管理は商工会に委託している。				切れたコインリフターのバンド交換を行った。 その後はトラブルなし。機器の入替をする方向の話し合いを行った。				事業実績														
	基本事業		01		公共交通の利用促進														利用台数														
	組織名				企画		課		企画調整		係		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																
事業期間		継続事業		会計		1		款		2		項		1		目		10		機器の交換時期が近づいている。コインリフターのバンドが切れたことにより釣銭が出ない等のトラブルがあった。 新500円玉対応。キャッシュレス決済への対応。				耐用年数が近づいていることから精算機の入替え、又はキャッシュレス決済対応のリーダーの取り付け、新紙幣、新貨幣への対応を検討する。				令和 4年度		令和 5年度		単位	
																				13,969				13,436		台							

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000006		後閑駅舎活用事業						① 事務事業の内容					③課題解決のため取り組んだ事、その結果					事業費		3,557,968 円								
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						平成30年4月無人化となった後閑駅を学生が利用できる自習室として活用する。					中学3年生向けに学習機会の場の提供を約9か月間実施。また、県の人材育成事業連携しプログラミングを学ぶ体験会や町で働く講師等を招き講演会等を実施した。					事業実績									
	基本事業		01		公共交通の利用促進																利用者数									
						②事務事業の課題					④今後の方針・課題解決策																			
組織名			企画			課			企画調整			係			施設の認知度をあげ、利用者が継続的に施設を利用できる環境の維持。利用者のニーズにあった、進学・就職支援につながる活動の確保。					中学校と連携し、中学3年生向けに学習機会の場の提供するほか、必要に応じて利用者の拡大を検討する。町内の企業と連携し、会社や職業情報等を紹介する場を設営し、進路情報等の提供を行う。					令和 4年度		令和 5年度		単位	
事業期間		継続事業			会計	1	款	2	項	1	目	10	1,434												1,745		人			

令和 6 年 6 月 21 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業		000004		シェアサイクル実証実験事業						① 事務事業の内容						③課題解決のため取り組んだ事、その結果						事業費		4,933,030 円															
施策体系	施策		09		公共交通の維持・確保						電動アシスト付き自転車をサイクルポート間で自由に貸出・返却ができるシェアサイクルを運営する事業。地域住民及び来町者の交通手段を補完することで回遊性を高め、地域を活性化させることを目的とする。 温室効果ガスを排出しないシェアサイクルは、豊かな自然と人々の共生、カーボンニュートラルなど持続可能な地域を目指す本町の基本理念とも親和性が高く、本町の魅力をより実感しやすい取組である。						利用者の行動把握のため、GPSロガーを活用した経路分析を実施。						事業実績																
	基本事業		02		移動手段の維持・確保																		利用者数																
	組織名				企画				課		企画調整				係		②事務事業の課題						④今後の方針・課題解決策																
事業期間		期間限定事業				会計		1		款		2		項		1		目		10		①利用者数増加のための施策検討 ②利用者の行動把握 ③周遊ルートの検討						利便性向上のため、月額プランの導入やスマホホルダーの取付、車体入れ替え等の実施を検討する。						令和 4年度		令和 5年度		単位	
																												2310		2351		名							